

「糖鎖の一生」を理解するための 遺伝学的解析とツール開発



講師

藤田 盛久 教授

岐阜大学

糖鎖生命コア研究所

日付：9月 22日（金）

時間：16時35分～18時05分

場所：E203 教室

講演概要

糖鎖は四大生体高分子の一つであり、遊離型あるいはタンパク質や脂質との結合した複合糖質として存在し、生体において様々な役割を担っている。我々はこれまで、糖鎖および糖タンパク質の合成から輸送、分解までを含めた「糖鎖の一生」に興味を持ち、それに関わる因子の探索と機能解析を行ってきた。特に、順遺伝子学的解析を用いて、糖脂質であるグリコシルホスファチジルイノシトールの生合成に関わる遺伝子群を同定し、それらの機能を明らかにしてきた (Liu et al. (2023) *J. Cell Biol.*, など)。さらに、細胞あるいは組織における遺伝子発現情報から糖鎖代謝経路を可視化、合成されうる糖鎖を推定できるツールの開発を行ってきた (Huang et al. (2021) *Dev. Cell*)。本講演では、最近の知見を含めた糖鎖の生合成調節機構の解析と糖鎖代謝経路可視化ツールの開発についてお話ししたい。

問い合わせ先

伊藤和義：kazuyoshi★soka.ac.jp

研究所HP：https://www.soka.ac.jp/glycan/

メールアドレスの★を半角@に変えてください。

